

フォナック ターゲット 6.1

フォナック ターゲット フィッティングガイド



フォナック ターゲット フィッティング ソフトは、適格な聴覚専門家が顧客の固有要件に合わせた補聴器を設定、プログラム、フィッティングするために使用します。このガイドは、フォナック ターゲットで補聴器をフィッティングするための詳細な入門書です。フォナック ターゲット開始画面で [ニュース] も閲覧できます。

フォナック ターゲットの以下の機能については、それぞれのフィッティングガイドをご利用いただけます (*指定された国に限ります)。

ジュニア モード

ナイーダ リンク

フォナック リモート サポート*

フォナック ターゲット/ALPS*

サウンドリカバー2

ターゲットマッチ

耳鳴りバランス

検証

目次

構造とナビゲーション	2
補聴器と CROS の準備	2
フォナック マーベルのトライアル用補聴器の準備	3
補聴器の接続	3
受信機チェック	4
音響パラメータのチェック	4
アクセサリー	4
フィッティング	5
基本調整	5
微調整	6
フィッティング セッションの終了	10
記号の情報と説明	10
システム要件	11

構造とナビゲーション

3つのタブ **[顧客]**、**[機器]** と **[フィッティング]** および上記のダッシュボードでは、簡単なナビゲーションと状況情報を表示します。

ダッシュボードでは、フィッティング状態とショートカットも示します。

Client Target, Phonak	Instruments Audéo M30-312	Fitting Calm situation (C)
個人データやオーディオグラムなどのすべての顧客情報がこのタブにあります。	すべての補聴器、音響パラメータ、リモコン、他のアクセサリがここにあります。 注: 補聴器アイコンの上にマウスを置き、電池充電状態 (充電式のみ) とロジヤーのライセンスに関する詳細を閲覧してください。	すべての機器調整をここでを行います。

補聴器と CROS の準備

アイキューブ / アイキューブ II / Noahlink Wireless

補聴器へのケーブルは不要です。電池を入れ、電池収納部を閉じ、補聴器の電源を入れれば完了です。充電式の補聴器に電源を入れます。

CROS II または **CROS B** のフィッティングについては、**CROS** システムですばやく**微調整**と**デモンストレーション**が出来る**アイキューブ II** の使用が推奨されています。

CROS II は、ベンチャー補聴器とのみに適合します。

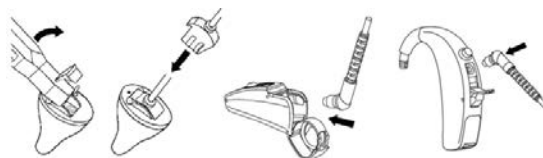
CROS B は、Belong™ (ビロング) 補聴器 (充電式を除く) のみに適合します。

CROS B-R は、フォナック オーディオ B-R 補聴器のみに適合します。

NOAHlink または HI-PRO

プログラミング用のケーブルを補聴器とフィッティング機器に接続します。

CROS フィッティングでは、ケーブルを接続した状態で **CROS** を実演することはできません。



フォナック マーベルのトライアル用補聴器の準備

フォナック マーベルのトライアル用補聴器では、1つの機器でパフォーマンスレベルを多様に変更することができます。【**トライアルとツール**】をクリックし、【**トライアル補聴器**】を選択し、【**設定**】を押して開始します。



目的のパフォーマンスレベルを選択し、【**続行**】を押します。プロセスが完了すると、機器はフィッティングセッションにおいてフィッティング可能な状態になります。



補聴器の接続

フィッティングセッションを開き、正しいフィッティング機器が表示されていることを確認します。フィッティング機器を変更するには、ダッシュボードのフィッティング機器の隣に表示されているプルダウン矢印を使用します。



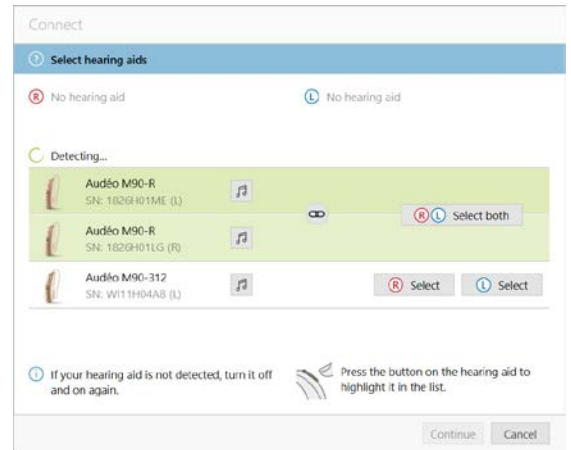
【**追加**】をクリックしてフィッティングを開始します。接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。

直接接続できる機器については次のとおりです:

- ペアリングが利用可能な機器は、自動的に表示されます
- 表示に機器が見つからない場合は、電池ホルダーを開閉するか、充電式補聴器の電源を入切して、ペアリングモードに入ります。
- 複数の機器が利用可能である場合、補聴器上のプログラムスイッチまたは多機能ボタンを押してリストに表示された該当機器をハイライトするか、顧客の装用する側を確定します。
- 以前ペアリングで組み合わせた機器は、リンク済みペアとして表示されます。

すべての新しいフィッティングについては、利用可能なフィッティングセッションの情報に基づいて、顧客の推奨装用歴が提供されます。

ノアからのオーディオグラムのデータが、自動的にフォナック ターゲットにインポートされ事前に計算されます。フォナック ターゲットのスタンドアロンバージョンでは、【**オーディオグラム**】タブでオーディオグラムを入力します。

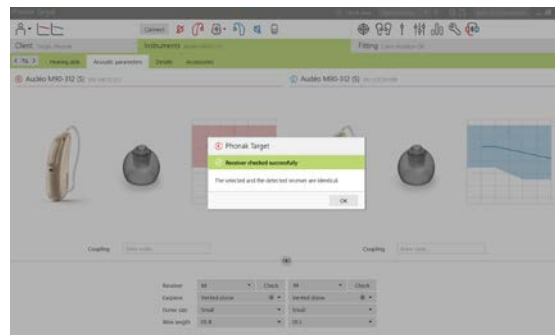


受信機チェック

フォナック ターゲットは、デバイスが初めて接続されると、オーディオ B とオーディオ M 機器に接続されているレシーバーが、**[音響パラメータ]** 画面で選択されているものと一致しているかどうかを自動的にチェックします。

一致していない場合は、フォナック ターゲットがその旨を通知し、レシーバーをチェックするように指示するメッセージを表示します。その場合、レシーバーを取り替えるか、音響パラメータの選択を変更することができます。

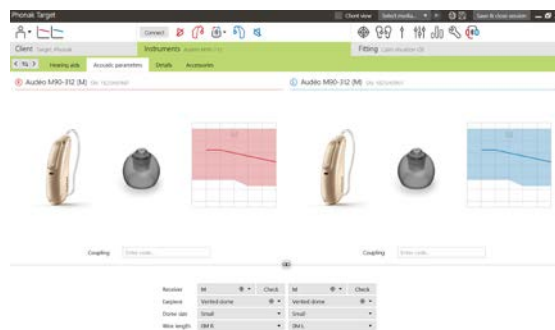
レシーバーの再チェックを開始するには、**[チェック]** を **[音響パラメータ]** 画面でクリックします。



音響パラメータのチェック

フォナック ターゲットでは同じ音響パラメータをまとめて自動的にリンクします。音響パラメータはいつでも表示、変更、リンク解除できます。

タブ **[機器]** > **[音響パラメータ]** をクリックします。正しいカプリング情報を入力または確認してください。



アクセサリ

接続した補聴器によっては、フォナック ターゲットは、フィッティングセッション中に接続されたアクセサリを自動的に識別できます。識別したアクセサリは、接続した補聴器の横にあるダッシュボードに表示されます。

アクセサリは、タブ **[機器]** > **[アクセサリ]** で手動によっても選択できます。

保存の手順中、アクセサリは保存ダイアログにリストされます。

重要: アクセサリからストリーミングする際は、CROS が自動的に切断されます。CROS は、ストリーミングを停止すると自動的に再接続します。



フィッティング

[フィッティング] タブをクリックし、[ハウリングと実耳テスト] にアクセスします。

ハウリングテストは、両耳で行うことも、片耳ずつ行うこともできます。**[R]/[両耳で開始]/[L]** をクリックして、テストを開始します。

テスト結果を使用して予測 RECD および音響パラメータ設定を計算するには、**[Use estimated RECD & vent]** のチェックボックスを選択します。チェックボックスは、システムで RECD とベント評価が可能な場合に使用できます。

オーディオグラムダイレクト

オーディオグラムダイレクトを使う前に [ハウリングと実耳テスト] の実行を確認してください。

接続した補聴器を使用して UCL と聞こえの閾値をテストするため、**[オーディオグラムダイレクト] > [開始]** をクリックしてください。気導の閾値には、**[断続音]** を選択できます。

前の聴力テストについては、**[履歴]** をクリックし比較およびレビューできます。

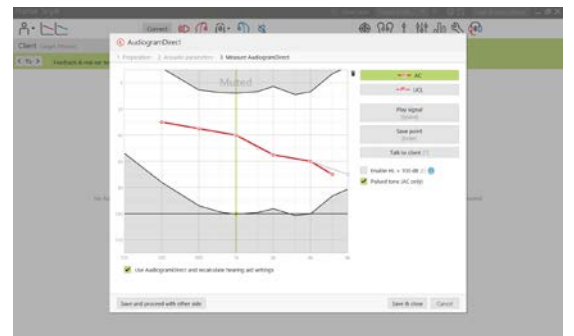
デフォルトの AC と UCL 測定動作を変更するには、**[スタートアップ] > [フィッティングセッション] > [オーディオグラムダイレクト]** の順に移動します。

基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比の調整が必要な場合は、**[基本調整] > [初期フィッティング]** で調整してください。利得レベルおよび圧縮比設定は、顧客の装用経験および選択されたフィッティング処方に基づいています。

接続した補聴器によっては、画面下部にあるタブから**[耳鳴りノイズ・バランス]** と**[CROS バランス]** など追加のツールにアクセスできます。

- アクセサリ CROS 機器と補聴器の間でのラウドネス比を調整するには、**[CROS バランス]** をクリックします。

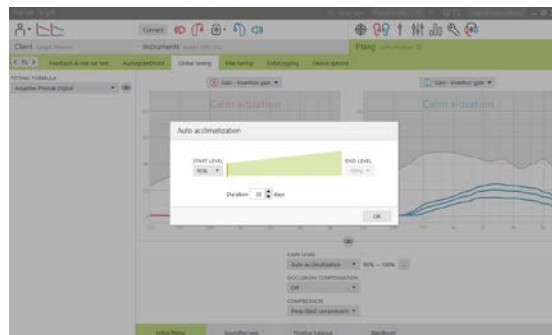


自動順応マネージャ

自動順応マネージャを使用する前に、**[ハウリングと実耳テスト]**を実行したことを確認してください。

[初期フィッティング] タブの **[利得レベル]** メニューで **[自動順応マネージャ]** を選択します。

[...] をクリックして、開始時のレベル、終了時のレベル、および補聴器の利得が設定した終了時のレベルまで自動的に上昇する時間を指定します。

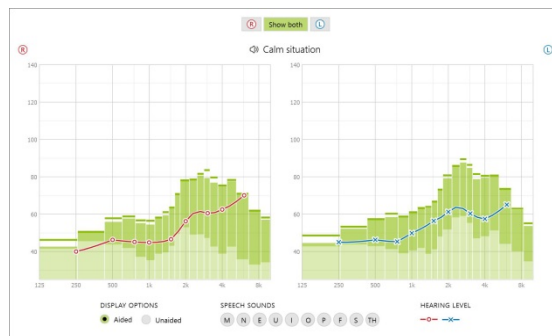


リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイにアクセスするには、**[顧客画面]** をクリックします。

リアルタイムディスプレイは、フィッティング曲線表示オプションとして、顧客にわかりやすい拡大表示または2つ目の画面ですべての補聴器にアクセスできます。

特にステレオやサラウンド音響サンプルを提供する場合、語音明瞭度の改善、利得、出力、サウンドリカバー、チャンネルの解像度について、容易に実演できます。



微調整

[微調整] 画面の左側は、プログラム処理に使用します。

全てのプログラムを同時に調整するには、**[全てのプログラム]** をクリックします。

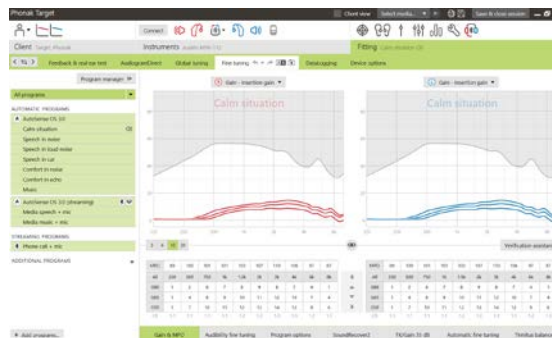
全ての音響自動プログラムを修正するには **[オートセンス OS 3.0]** をクリックするか、オートセンス OS をストリーミング用に修正するには **[オートセンス OS 3.0 (ストリーミング)]** をクリックします。

単一プログラムを修正するには、リストで **[静かな環境]** などプログラムをクリックし、必要に応じて調整します。

追加のマニュアルプログラムを追加するには、**[+]** アイコンをクリックします。

プログラム上の **[プログラムマネージャ]** をクリックして、プログラムを管理できます。これにより、プログラムをさらに詳細に調整できます。

元に戻す/やり直し機能は画面上部のメニューバーにあり、微調整画面で元に戻す/やり直しの操作を行うのに使用できます。



画面下部のタブを使い、フィッティングツールにアクセスできます。各ツールでは、補聴器を微調整する特定の修正を行うことができます。

利得 & MPO

調整したい利得値をカーソルで選択します。利得値は、大中小の入力音を調整可能です。個別の UCL 値を装用者のオーディオグラムを入力した場合、最適フィッティングレンジを使用できます。

全てのチャンネルで MPO を同時に修正するには、MPO 値の左にある **[MPO]** をクリックします。全体の利得を変更するには **[利得]** をクリックします。

各チャンネルの圧縮比は、利得値の直下にある行に表示されます。

オーディビリティファインチューニング

選択可能な音のサンプルと関連する利得は、曲線表示で閲覧できます。音のサンプルは、固有の聞き取り環境をシミュレートして再生できます。

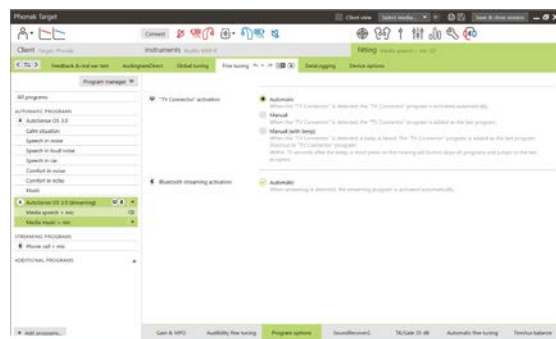
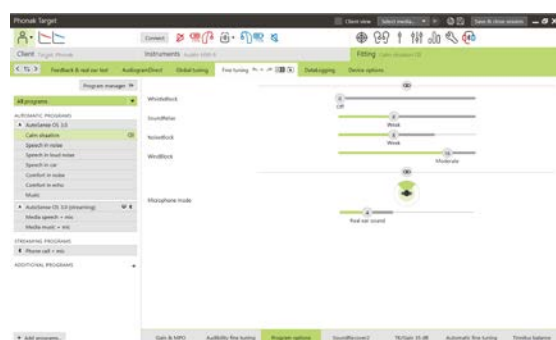
利得値は、大中小の入力音について表示されます。調整は、選択した刺激の可聴性の増大に関連する利得レベルと周波数のみに影響し、異なるシェードの赤/右と青/左で表示されます。

プログラムオプション

プログラムオプションは、初期設定から調整できます。現在の設定は、0 から 20 までの数値を付したスケールにあります。各スケール内の使用可能な幅も表示されますが、これはパフォーマンスレベルにより異なります。

ダイレクト通信補聴器については、ストリーミングにアクセスする初期設定切り替え動作を変更できます (すなわち、テレビコネクター、ロジャー、フォナックパートナーマイク)。

- **[オートマチック]** - 補聴器は自動的に切り替わり、ストリーミング信号を受信します (初期設定)。
- **[マニュアル (ビーブ音あり)]** - ビーブ音が補聴器内で聞こえます。顧客は、ストリーミング信号を受信するかを手動で選択できます。
- **[マニュアル]** - ビーブ音は聞こえません。プログラムが最終プログラムとして追加されます。
- これらの動作は、テレビコネクター、ロジャー、フォナックパートナーマイクで使用できます。



サウンドリカバー2/サウンドリカバー

事前計算で設定された個々のサウンドリカバー設定は微調整できます。両耳フィッティングの場合は、カットオフ周波数および周波数圧縮比が聞こえる方の耳に基づいて計算されます。

1つのセッション中に互換性のない補聴器をフィッティングする場合は、サウンドリカバー設定を確認してください。

サウンドリカバー2

顧客の可聴性または検出の好みに合わせて、サウンドリカバー2の強さを設定します。

可聴性では、高音域の音をよりよい低音域領域にシフトしてよく聞こえるようにします。検出ではSやSHなどの可聴高音域の音を区別しやすいようにします。

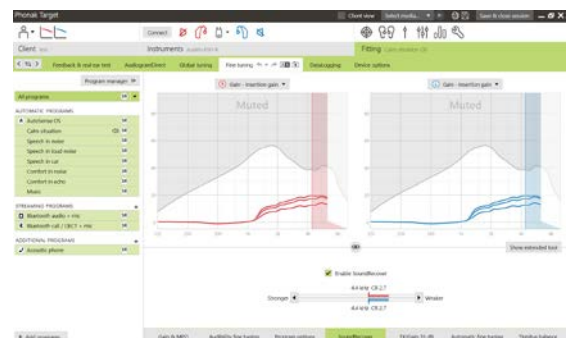
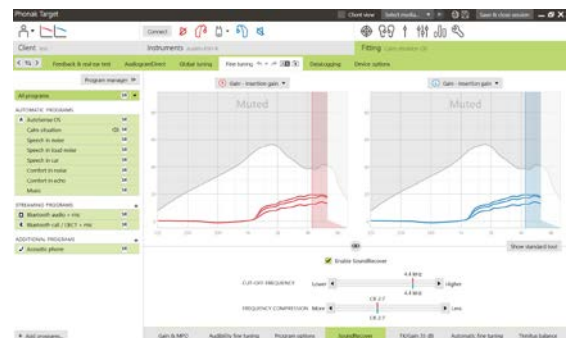
可聴性と検出の設定により、明瞭性と快適性の設定を調整してください。

快適性は、男性の声、自分の声、または音楽などの音をより自然な音にします。明瞭性は、高音域の音に変化しているように聞こえるようであれば、可聴性と検出を調整します。

サウンドリカバー

周波数圧縮の強さは、語音明瞭度、可聴性、音質を向上させるよう、好きなように上げ下げできます。

サウンドリカバーのフィッティングツールを拡張して、カットオフ周波数や圧縮比を個別に調整することもできます。この操作には、**[拡張ツールの補正を表示]**をクリックします。



TK/利得 35 dB

非常に小さい (G35) 入力音の増幅は、この調整ツールで調整できます。非常に小さい入力音の利得を増加させるとニーポイント閾値 (TK) が減少し、利得を減少させるとニーポイント閾値 TK が増加します。

調整したい値をカーソルで選択します。利得値の下には、各チャンネルの TK 値が表示されます。非常に小さい入力音の利得/出力カーブがカーブの表示に表示されます。



オートマチックファインチューニング

これは、状況ベースの微調整ツールです。使用可能な調整は、音環境に関する装用者の評価により異なります。

微調整ステップは、操作を適用する前に明白に表示されます。プログラムの選択によっては、推奨音サンプルが事前に選択されます。

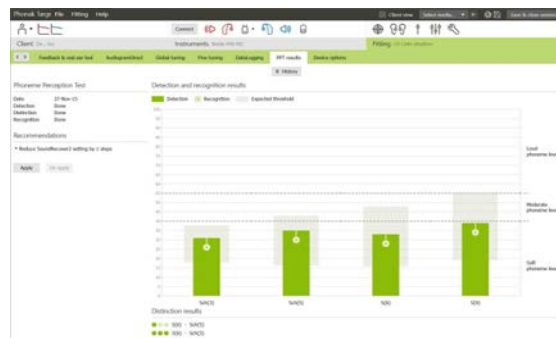
音サンプルは、聞き取り環境をシミュレートするために再生できます。



音素認識テストの結果

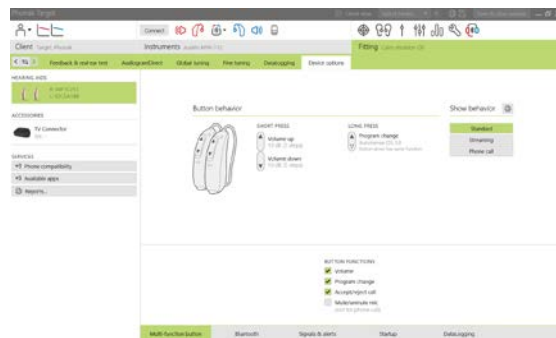
前の音素認識テストに関する結果が表示され、フィッティングを改善するため適用できます。対応テスト結果をノアセッションリストで使用可能な場合にのみ、**[音素認識テスト結果]** 画面にアクセスできます。

注意: フィッティング処方アダプティブフォナックデジタルを使用する場合、微調整の推奨事項のみが提供されます。



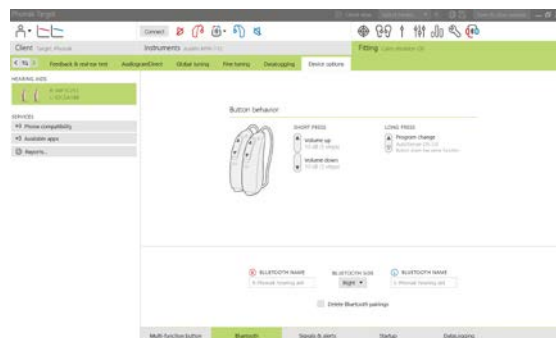
機器オプション

[機器オプション] をクリックすることで、プログラムスイッチまたは多機能ボタンの動作、信号およびアラート、開始動作またはデータロギングなど、補聴器のオプションを設定できます。



直接接続できる機器については次のとおりです:

- **[Bluetooth]** タブをクリックすることで、Bluetooth の名前や使用する側の設定、ペアリングの管理などの設定を行えます。



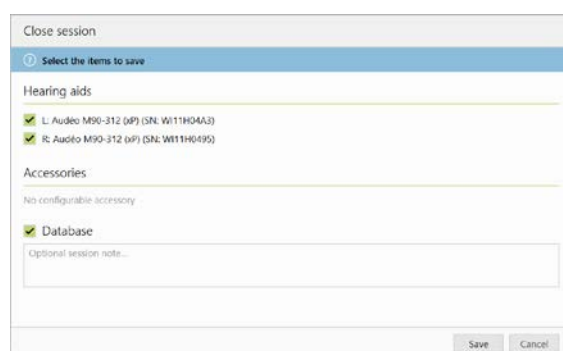
フィッティングセッションの終了

画面右上隅にある **[セッションを保存して閉じる]** をクリックすれば、いつでもセッションを閉じられます。保存するアイテムを選択します。フォナック マーベル トライアル用補聴器では、デフォルトで自動的に最大 6 週間のトライアル期間が設定されます。


スタンダード保存ダイアログで、補聴器とアクセサリが正常に保存されたことを確認できます。


保存し終わると、自動的にフォナック ターゲットの開始画面に移動します。


ノアを使用する場合、ノアに戻るには、開始画面の右上隅にある **[Noah に戻る]** をクリックしてください。





記号の情報と説明


 CE マークにより、この製品が、医療装置の指令 93/42/EEC を遵守していることをソノヴァは確認します。CE マークに続く番号は、上記の指令下で評価を行った公認機関のコードを表します。

 EU 指令 93/42/EEC に定義される医療機器の製造業者であることを示しています。

 医療機器を識別するための製造業者のカタログ番号を示しています。

 使用説明書を参照してください。使用説明書は www.phonakpro.com ウェブサイトから取得できます。

 特長や機能を詳説したり、適用される関連フィッティング情報をハイライトします。

 エンドユーザーの体験に影響する可能性のある機能上の制限を説明し、注意すべき重要な情報をハイライトします。

システム要件

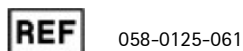
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 10、Home / Pro / Enterprise • Windows 8 / 8.1、最新 SP、Pro / Enterprise • Windows 7、最新 SP、Home / Professional / Business / Enterprise / Ultimate
プロセッサ	Intel Core 以上の性能のもの
RAM	4 GB 以上
ハードディスク容量	3 GB 以上
画面解像度	1280 x 1024 ピクセル以上
グラフィック カード	表示色数 1600 万色 (24 ビット) 以上
ドライブ	DVD
シリアル COM ポート	RS-232 HI-PRO を使用する場合のみ
USB ポート 以下の各目的に 1 つずつ	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth® 技術搭載ワイヤレス アダプター* • アクセサリー プログラミング • HI-PRO、ただし USB ポート経由で使用する場合 • Noahlink Wireless
プログラミング インターフェイス	Noahlink Wireless/アイキューブ II / アイキューブ / NOAHlink / RS-232 HI-PRO / HI-PRO USB / HI-PRO2
ノアリンク ドライバー	入手可能な最新バージョン
Noahlink Wireless ドライバー	入手可能な最新バージョン
インターネット接続	推奨
サウンド カード	ステレオまたはサラウンド 5.1
再生システム	20 Hz ~ 14 kHz (+/- 5 dB)、90 dB
ノアのバージョン	最新バージョン (ノア 4.4 以上) Windows 64 ビット オペレーティング システム用のノアの制限事項を http://www.himsa.com で確認してください。
ターゲットマッチ	ノアのバージョン 4.4.2280 以降 オトメトリックス オトスイート 4.84.00 以降 オトメトリックス オリカル フリーフィット REM 用およびオリカル ヒット検査箱測定用

Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。

CE マークには、2019 年に取得しました。



製造元:
Sonova AG
Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Stäfa



フォナック ターゲット 6.1 DVD

sonova
HEAR THE WORLD